



2024年12月23日

各 位

会 社 名 株式会社 ストレージ王
代 表 者 名 代表取締役 荒川 滋郎
社長執行役員
(コード番号：2997 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役 執行役員 水村 健次
管理部長
TEL. 047-314-1981

**当社における資金流失事案に関する調査結果及び再発防止策の策定並びに
役員報酬の一部自主返上に関するお知らせ**

標題の件、2024年12月13日付「当社における資金流失事案について」にて公表しておりますとおり、当社は、本事案が発覚後、社外の法律事務所等の「調査・対策チーム」を組成し、事実関係の解明に向けた調査を進めてまいりました。その結果、当社は「調査・対策チーム」より、2024年12月20日付の「調査報告書」を受領いたしました。

当社としましては、その調査結果と提言を真摯に受け止め、取締役会において、既に実施済みの対策を含め再発防止策を決定いたしました。

また、当社関係役員より役員報酬の一部自主返上の申し入れがありましたので、お知らせいたします。当社としましては、このような事案の再発防止に向け更なる管理体制の強化に取り組んでまいります。また、流失した資金の保全・回収手続きを継続して実施しておりますことを併せて報告申し上げます。

記

1. 今回の資金流失事案の調査結果

(1) 本資金流失事案の概要

- ・2024年11月19日に弊社の取引先金融機関のオペレーターを騙る悪意の第三者から電子証明手続きに不備があり、再手続きが必要である旨の虚偽の指示を受け、当該手続きを実行した結果、資金が不正に流失しました。まもなく当該資金流失が悪意の第三者の仕業によるものであることに気がつき、犯罪に巻き込まれたと判断し、直ちに捜査機関に対して被害報告を行いました。

(2) 当社の役職員の関与について

- ・「調査・対策チーム」の調査で把握した客観な事実、関係者へのヒヤリング及びパソコン等の機材等の調査状況から当社の役職員が本事案に関与した事実はないことを確認しております。また、当事者が関与した不正行為である可能性も認められないことも、併せて確認しております。

(3) 本事案に係る情報漏洩（ITシステムへの不正アクセス等）の有無について

- ・本事案に関連して、外部からのITシステムやパソコンの不正アクセス及び内部から悪意ある第三者への情報漏洩の有無について専門業者の協力を得て調査した結果、今回流出したIDとパスワード以外には、情報漏洩の事実はないことを確認しております。

(4) 本事案以外の資金流失の有無について

- ・国内外の送金業務等について、本事案と同様、又は類似の事実の有無について、関係者ヒヤリングで現預金残高の確認及び異例な送金の有無の調査をした結果、同様の事案がないことを確認しております。

2. 再発防止策について

本事案の事実関係を調査した結果、当事者が巧妙な詐欺行為に騙されたといはいえ、送金業務における業務プロセスを見直し、以下の対策を実施することで、当社として管理体制の強化に取り組み、再発防止に努めてまいります。

(1) 諸規程、業務手順書及びマニュアル等の見直し

(2) 業務プロセスの管理強化

- ① 資金支払における管理プロセス（送金決済における承認権限及び決済ルート）の見直し
- ② インターネットバンキングに関する情報管理の強化

(3) 業務のモニタリング強化

- ① 資金残高管理の強化（管理プロセスを追加）
- ② 資金移動の管理強化

(4) 注意喚起、コンプライアンス等の社内教育の徹底

- ① 全社員に対する同様・類似事案の注意喚起の再徹底
- ② 全社員に対する社外専門家等による研修会の実施（継続実施）

(5) 内部監査の強化

- ① 再発防止策の運用モニタリングの監査項目への追加等

3. 役員報酬の自主返上について

本事案につきまして、経営責任を明確にするために、次のとおり取締役3名より役員報酬を自主返上する旨申し出がありました。

(1) 返上の内容

- | | | |
|---------------|------|----------|
| ① 代表取締役社長執行役員 | 荒川滋郎 | 月額報酬の10% |
| ② 取締役執行役員管理部長 | 水村健次 | 月額報酬の10% |
| ③ 取締役執行役員営業部長 | 坂口亮一 | 月額報酬の5% |

(2) 返上期間

2024年12月から2ヶ月間

以上